

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 山形ブロック協議会
立候補予定者：大内りか氏 公開質問状回答

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 山形ブロック協議会
山形県知事選挙に向けた公開質問状

立候補予定者名：大内 りか

1. 立候補を決意した理由を記載してください(200文字程度)

停滞する県政を活力あふれる県政に変えたいからです。なかなか進まない県政を前に進め、もっと豊かな県にしたいと思っています。例えば、県のこども医療療育センターにおいて発達障がい児の初診までの待ち時間は6ヶ月。12年間全く変わっていません。山形新幹線の福島一米沢のトンネル事業化も一向に進みません。動かない県政がこのまま続けば衰退が加速してしまうという危機感を抱いたからです。「やる気のある県政運営」と「国と連携できる県政」を創るために立候補を決意しました。

2. 県の課題認識とどう取り組んでいくか記載してください。(200文字程度)

人口減少に歯止めがかからない現状に危機感を抱いています。15歳から29歳の若年女性の県外流失が全国一高い現状を改善し、若者や女性が安心して働き、結婚し、子どもを産み育てることのできる環境を作ります。また、遅れている交通インフラの整備や県民の命と暮らしを守り抜く県土強靱化は、国と連携して前に進めます。低下している教育環境を向上させ、人口が減少する中でも安心して質の高い医療を提供するために地域医療の体制を整えます。県行政でしかできない県勢発展の基盤を国と連携して前に進めていきます。

3. 県の経済成長戦略についてどう取り組んでいくのか記載してください(200文字程度)

すべての産業の基盤であるインフラ整備を促進します。また、「稼ぐ力」を高める産業振興を進めます。県の技術力を結集し、既存企業の育成と工業生産額を高めるために、山形県ものづくり戦略会議を創設します。また、未来へつなぐ活力ある農林水産業を目指して、消費者のニーズにあわせた品種改良やマーケティングの充実を図り「儲かる農業」を実現します。更に、効果的な広報戦略や隣県との広域連携による観光振興を図ります。

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 山形ブロック協議会 立候補予定者：大内りか氏 公開質問状回答

4. 少子高齢社会に向けてどう取り組んでいくのか記載してください。(200文程度)

少子化対策としては、女性の働く環境を充実させるとともに、発達障がい児や医療的ケア児、特別支援校の支援、子どもの貧困率の改善など、子どもを取り巻く環境を整備します。また、出産時における定額給付金を創設し、高校生の医療費を無料にします。不妊治療への支援も充実します。高齢化社会に対応するためには、歯科との連携などによる健康寿命を延ばす取り組みや在宅医療を推進するとともに、医療と介護の連携を図ります。

病院の連携と役割分担を行って、人口が減ってもなお安心して高度な医療を受けられる地域医療の体制を整えます。

5. 人口減少についての考え方やどう取り組んでいくのか記載してください。(200文程度)

人口減少は本県の大きな課題だと認識しており、その取り組みは2に記載の通りです。

人口減少に歯止めをかける努力をする一方で、関係人口や交流人口を増やすことが必要だと考えます。コロナ禍で、働き方や生活様式が変化している中、リモート会議やワーケーションの誘致を推進するとともに、地方分散が進む中で、多様な人々が集う「選ばれる山形」を目指します。そのためには、「潜在的な力」を引き出して発信するとともに、インフラの整備や医療、教育、県土強靱化など、安心して住むことのできる県づくりに取り組んでいきます。

6. SDGsの達成に向けて県としてどう取り組んでいくのか記載してください。(200文程度)

人口が減ってもなお、持続可能な社会を構築するために、県もSDGsの考え方に基づいた県政運営に取り組むべきだと考えている。SDGsの達成に向けては、SDGsの取り組みの情報を多くの県民に理解してもらい、県民の主体的な参画を求めていくことが必要だと思います。

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 山形ブロック協議会
立候補予定者：大内りか氏 公開質問状回答

7. もっとも取り組みたい施策の分野の優先順位を記載してください。(経済対策、少子化対策など)

- ①コロナ対策
- ②人口減少対策と思い切った子育て支援
- ③県民の命と暮らしを守り、経済発展の基盤をつくるインフラ整備の促進
- ④だれもが安心して暮らせる地域医療と福祉の充実
- ⑤未来へつなぐ活力ある農林水産業

8. 設問7で回答した内容の具体的な施策を教えてください。(1分野につき200文字程度)

①分野:コロナ対策

- ・医療体制の崩壊を防ぐため、短・中期的に感染症専門病院を設置します。医療、介護、障がい福祉に従事される方々への支援を拡充します。また、コロナで苦境にある業種への支援を充実し、雇用を守り、事業の継続を支援します。

②分野:人口減少対策と思い切った子育て支援

- ・子どもが生まれた世帯に、第1子30万円、第2子50万円、第3子100万円の定額給付金制度を創設します。
- ・高校生の医療費を全額無料にします。
- ・女性の賃金を上げるために企業や働く場に県独自の支援を実地します。
- ・不妊治療への支援を充実させます。

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 山形ブロック協議会
立候補予定者：大内りか氏 公開質問状回答

③分野: 県民の命と暮らしを守り、経済発展の基盤をつくるインフラ整備の促進

- ・国の補助制度を最大限利用した高速道路整備のスピードアップと地域高規格道路の
- ・早期事業化をめざします。
- ・国と連携した最上川流域の治水対策と県管理河川の整備を進めます。
- ・米沢―福島間の防災トンネルの事業化を進め、山形新幹線の機能強化をはかります。

④分野: だれもが安心して暮らせる地域医療と福祉の充実

- ・地域ごとに病院の役割分担と連携を強化し、医師の確保を含めて地域医療の体制を
確立します。
- ・山形県こども医療療育センターの発達障がい児の初診待ち6ヶ月を短縮し、県内の
医療環境を拡充します。

⑤分野: 未来へつなぐ活力ある農林水産業

- ・収入保険の加入促進のため、青色申告の支援とともに、初年度の掛け金を県単独で
助成する支援制度を創設し、災害に強い農業を目指します。
- ・「儲かる農業」を目指し、消費者のニーズにあわせた品種改良やマーケティングの充
実を図ります。
- ・親元就農への県独自の助成制度創設を目指します。
- ・土地改良事業を強力に推進します。
- ・鳥獣被害対策の更なる拡充を図ります。
- ・市町村とスクラムを組み、森林管理事業の充実を図ります。
- ・海・内水漁業の総合的な振興策を推進します。